

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	大腸がん患者の術後早期及び術後遠隔期の栄養状態に関する研究
	研究目的	この研究では、皆さまの診療録から、術前・術後の身体計測値、臨床検査値、術後の消化器症状、栄養補給状況、その他の栄養状態に影響を与える因子を調査します。そして、それらの関連性を総合的に検証し、今後の術前・術後のより良い栄養療法を円滑に進めるための基礎情報を得るために実施されます。神奈川県立がんセンター2017年4月～2017年9月の間に大腸がん手術を行った患者さまの入院から退院後6か月までの栄養状態を調査対象とします。
	研究期間	西暦 2018 年 7 月 20 日 ～ 西暦 2019 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input checked="" type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録 身体計測値
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	藤井理恵薫
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	栄養管理科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	神奈川県立保健福祉大学 栄養学科教授・外山健二